



「ジュニア・エコタイムス」で 青葉小の伊藤咲智さんが県知事賞！

埼玉県と埼玉新聞社が主催の、小学生が作る環境新聞「ジュニア・エコタイムス」で、青葉小学校6年（令和4年3月現在）の伊藤咲智さんが、大賞となる県知事賞を受賞しました。

今回の応募総数は4,080点。参加した県内4,389人の児童の頂点に輝いた伊藤さんにお話を伺いました。



interview

「自分の行動で、世界をちょっとでも変えられる」

伊藤咲智さん

— 県知事賞を受賞されたと聞いてどんなお気持ちでしたか。
伊藤さん 聞いた時は驚きでしたが、県知事賞を取れてとても嬉しかったです。もともと授業とかで新聞を作る機会が多かったので、デザインするのは好きだったし、エコ活動も普段から暖房とか電気を使い過ぎないように心がけていました。今回、目指していた入賞をすることができて良かったです。

— 新聞を作成するなかで、大変だったのはどんなところでしょうか。
伊藤さん 情報量がいっぱいあったので、それを分かりやすくまとめるのとか、伝えたいことを短くまとめるのが難しかったです。でも、前の受賞作品がホームページに載っていたので、良いところを少し真似したりして作りました。

— 今回の取り組みで新しく学んだことや、今後取り組みたいと思ったことはありますか。
伊藤さん 今世界で起こっている環境問題が、自分がやっ

令和3年度テーマ 「身近なエコ・世界のエコ」



たことでちょっと変わるんだ、自分のやることで世界が変わえられるんだということを実感しました。今回新聞にまとめたこと以外にも、何か家や生活するなかでできる節約を、積極的にやっていたいと思います。

— 最後に、読者にメッセージをお願いします。
伊藤さん 大きなことや大変なことをやるのは難しいから、まずはちょっとしたことから、家や身の回りでできる「身近なエコ」をやるのが大切だと思います。それを多くの人に伝えたいです。

ジュニア・エコタイムスのホームページで、令和3年度の入賞作品を公開しています！



▲伊藤さんの受賞作品。卒業制作で行った、学校の古くなった机を壊さず使い続けることができるよう天板にシートを貼るという作業で得た気づきを、学校や家庭でできるエコ活動に生かし、SDGsと結び付けてまとめた点が評価されました。